



# 4

## 計画実現に向けて

## 第4章 計画実現に向けて

### (1) 協議会の役割

協議会では、むさしのクローバープラン基本構想、本基本計画の策定、まちづくり講演会の開催、各市事業の調整等を実施してきたが、今後もむさしのクローバープランの推進には、各市相互の連絡調整のほか、関係機関との調整も必要となることから、協議会に期待される機能を以下のように整理する。

#### ●計画推進の総合調整機能

各市間の連絡調整、各プロジェクトの事業主体間の連絡調整のほか、国・県・関係機関との連携、各種事業の要請等、計画推進の中核として総合的な調整機能を果たしていく。

#### ●4市圏で統一されたまちづくりのための方針、ガイドライン策定機能

各種プロジェクトの中には、4市圏で統一された方針のもと整備を推進していくことが効果的なものがあり、それらのプロジェクトを推進していく上での指針、ガイドラインづくりを行う。

#### ●プロジェクト実施計画等、企画・計画立案機能

各プロジェクトの推進にあたっては、実施計画等さらに具体的な進め方の検討が必要であり、そのための4市圏全体の観点から共通課題の抽出や、事業推進のための計画立案、各種イベント等の企画を立案していく。

また、計画推進のための拠点・システムづくりのなかでは、その整備主体や運営主体の検討が必要なプロジェクトもあり、それらについての整備計画を策定していく。

#### ●各種情報収集・提供機能

各市を通じて、多様な情報の集積を進めていくとともに、4市圏で取り組む各種の事業についても広く関係機関や、周辺自治体及び4市圏住民などからの情報や意見・要望等を収集していく。

また、4市圏住民等への一体的な情報の提供そのものがプロジェクトの中心となるものもあり、収集した情報のデータベース化を進め、各市、4市圏住民、関係団体等への統一的な広報、情報の提供等、情報システムの拠点としての機能を果たす。

## ●ソフト事業実施機能

4市圏の住民レベルの連携強化を図るための各種イベントや講演会、シンポジウムの開催のほか、4市圏全体で取り組むことによる効果が期待される事業を行う。

## ●まちづくりのための調査・研究

むさしのクローバープランを推進していく上では、新たな社会経済動向や4市圏住民のライフスタイル等の多様な条件に応じていく必要があるとともに、全国で行われているまちづくりの先進事例等を参考にしたり、4市圏の特性に応じた新しいまちづくりが必要となるケース等が想定される。

## (2) 推進・支援体制づくり

協議会の今後のあり方を含めて、各プロジェクトや事業ごとの具体的な役割分担を明確にし、各事業主体間の連携、調整を図りながらプロジェクトを推進していくことが必要である。

## (3) むさしのクローバープラン事業と各市事業の展開調整

むさしのクローバープランでは、各市の地域特性や目指す将来像に応じて、それぞれの市が個性を発揮しながら事業を進めていくことを基本とするものである。

一方、むさしのクローバープランの目指すものは、4市圏が全体として発展していくことであり、そのためのプロジェクトである。

こうしたことから、各市の事業とむさしのクローバープランのプロジェクトをうまく調整しながら事業展開を図る。

## (4) プロジェクト推進のための実施計画等の策定

本計画では、基本構想で掲げた将来像に向けて、具体的な取り組みとしての各プロジェクトの概要を示したものである。今後、実際に事業を進めていくためには、さらに具体的な実施計画等の策定を行う。